

競 技 注 意 事 項

本競技会は 2019 年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。

1. 競技場（スタンド等）への入場について

- (1) 正面玄関入口の使用は競技役員のみとし、競技者はメインスタンド等の入口を使用する。開門時の入場は正面メインスタンド入口とする。
- (2) トラック内への出入りは、北西ゲートと南西ゲートを使用する。
- (3) 更衣室および室内練習場への出入りは、メインスタンド下北入口を使用する。
- (4) 学校受付、キャプテン集合および補助員の出入りは競技役員の指示に従うこと。

2. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。
- (2) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 投てき練習は競技場所に入ってから競技役員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。
- (4) トラックを利用した練習は 8 時 45 分までとする。

3. 招集について

- (1) 招集場所は、室内練習場南側とする。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始）及び招集完了時刻（移動開始）は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

招集時間	トラック	跳 躍	投 て き	棒 高 跳
開始時刻	30 分前	50 分前	50 分前	90 分前
完了時刻	20 分前	40 分前	40 分前	80 分前

- (3) 競技者は招集開始時刻に競技者係より確認をうけること。その際、ナンバーカード、腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認を受けて、そのまま待機し、招集完了時刻に移動する。
- (4) 代理は認めない。完了時刻に遅れた者は欠場したものとみなす。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は代理人を認める。
- (5) リレー競技について
 - ① オーダー用紙は第 1 組の招集完了時刻の 60 分前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は欠場とみなす。(用紙は巻末にあるものを使用)
 - ② オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集場所に待機し、確認を受けること。
- (6) 腰ナンバーカードは招集開始前に招集場所で受けとり、パンツの右側やや後方につける。ゴール後すぐ返却すること。
- (7) 4×400mR の第 2・第 3 走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
- (8) 混成競技については、第 1 日・第 2 日の各第 1 種目の招集を受けること。以降の種目は直接現地で行う。ただし、途中棄権の場合は、欠場届を競技者係に提出すること。
- (9) 欠場する場合は、競技当日の招集開始時刻までに競技者係へ欠場届を必ず提出すること。(用紙は巻末にあるものを使用)

4. 競技について

- (1) ナンバーカードはユニホームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。

- (2) スパイクのピンは、9mm 以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm 以下とする。本数は11本以内。
- (3) 通信機器（携帯電話等）をトラックまたはフィールド内に持ち込んで서는ならない。
- (4) トラック種目はタイムレースとするが、100m・200m は決勝レースをおこなう。
- (5) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (6) 長距離競走について

- ①胸・背に別ナンバーカードを使用する。招集時に自分のナンバーカードの確認を受け、競技者係から別ナンバーカードを受けとり、ゴール後に返却すること。
- ②グループスタートを行う場合があるが、グループ分けは出発係の指示に従うこと。
- ③周回遅れになった選手にタスキを使用する場合がある。監察員からタスキを渡された選手は、肩からかけて競技を行い、ゴール後すぐ返却すること。
- ④コーンを使用してフィニッシュと周回を分ける場合がある。競技役員の指示に従って3レーンよりアウトレーンでフィニッシュすること。
- ⑤競技会運営上、ラスト1周で5000mは19分で、3000mは14分で、3000SC は12分をこえる選手は競技を打ち切る。また、競歩種目においてはラスト1周で男子5000mW は33分、女子5000mW は37分を超える選手は競歩主任が競技を打ち切る。
- ⑥3000mSC の第1ハードルの位置が、2周目以降移動するので注意すること。

(7) フィールド種目について

- ①各種目で次の記録以下は計測しないことを原則とする（混成競技は除く）。

種目	男	女	種目	男	女
走高跳	1m55	1m25	砲丸投	9m00	6m50
走幅跳	5m50	4m00	円盤投	23m00	20m00
三段跳	11m00	/	やり投	35m00	23m00
棒高跳	2m80	2m10			

- ②トップ8を行う。
- ③走幅跳・三段跳はメインスタンドから、バックスタンドに向かって順に、Aピット・Bピット・Cピット・Dピットとする。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側をAピット、バックスタンド側をBピットとする。棒高跳は第二曲走路外側（北ピット）で行う。
- ④走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。
 男子は練習150cm、155cmから始めて175cmまで5cm、それ以降3cmずつ上げる。
 女子は練習120cm、125cmから始めて145cmまで5cm、それ以降3cmずつ上げる。
 混成競技では、下記のとおりとする。なお、選手からの申請があれば、5cm単位でスタートの高さを変更することもある。
 男子は練習135cm、140cmから始めて175cmまで5cm、それ以降3cmずつ上げる。
 女子は練習115cm、120cmから始めて145cmまで5cm、それ以降3cmずつ上げる。
- ⑤棒高跳のバーの上げ方は跳躍審判員の指示による。
- ⑥投てき種目の計測（砲丸投を除く）は、ベスト記録のみを計測する。

(8) フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

5. やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検査は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。
6. 各種目6位入賞者に表彰状があるので、本部席まで取りに来ること。100m・200mについては、決勝レース1～6組の1着のタイムを比較し1～6位を決定する。
7. 競技場の使用について
 - (1) 通行禁止、使用禁止等の指示を厳守すること。
 - ① スタンドから競技場トラック周辺に降りての応援は禁止。
 - ② 芝スタンドは中段より上段は使用可能。
 - ③ メインスタンド中段通路より下、およびメインスタンド屋根下はテントを設置してはいけない。
 - ④ 部旗・横断幕等はバックスタンドか、芝スタンドの外側フェンスに設置すること。
 - ⑤ 競技役員および補助員以外は、フィールド芝生内への立入禁止。
 - ⑥ トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用禁止。
 - (2) 更衣室の使用は更衣のみとし、一切の私物を置かないこと。使用後はすみやかに退室すること。
 - (3) スタンド等を使用した場所は各校で責任を持って清掃し、競技場内に飲料水のボトル等を放置しないこと。
8. その他
 - (1) 顧問の受付がない学校の選手の出場は認めない。
 - (2) プログラムの配布冊数は参加人数より決める。冊数は別頁に記載してある。
 - (3) 補助員は各校1～2名出ること。補助員分担は別頁に記載してある。
 - (4) 集団での声援（応援）および不正な助言行動は自粛すること。
 - (5) 競技会開催中の事故については、応急処置以外の責任は負わない。
 - (6) 記録は正面玄関外側の記録掲示板に掲示する。
 - (7) 盗難の発生や忘れ物が多いので、荷物等は各校で十分管理すること。
 - (8) 競技場の外にテントを張る場合、樹木保護の為に杭打ち、木の枝に紐を括り付けることやテントを幕で囲むことは禁止とする。
 - (9) 競技終了30分前には各校片付け・清掃を開始し、ゴミは学校ごとに配布されたゴミ袋に分別し、指定場所に持っていくこと。
 - (10) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会のウェブサイト（高体連及び3・4地区）に記載されますが、関係以外には一切使用しません。

中央大会への出場等について

1. 中央大会への出場制限

- (1) いかなる事情があっても、この地区予選会にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
※シード権は、葦音記載の各種目昨年度ランキング6位以内（女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投・競歩・混成競技は4位以内）の者に与えられ、シード権を有する種目にエントリーし
た選手は、この地区予選会に出場せずに中央大会に進出できる。ただし、エントリー時点で、シード権の放棄を申し出た者は、この地区予選会に出場できる。
- (2) 各種目（リレー・競歩・混成競技を除く）、3・4地区を合わせて記録上位者24名以内とシード権を持つ者とする。
ただし、

- ① 100m・200m は、予選各組 1 着とタイム上位者合わせて 48 名で決勝レース（6 組×8 人）を行い、各組 4 着までの計 24 名を選出する。
 - ② 混成競技は、4 つの地区全体の結果を合計し、得点上位者 16 名とシード選手が中央大会に出場できる。
 - ③ 競歩種目は、4 つの地区全体の結果を合計し、記録上位者とシード選手の合計 30 名が中央大会に出場できる。
 - ④ 女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は 3・4 地区を合わせて上位 16 名とシード選手が中央大会に出場できる。
- (3) 4×100mR はエントリーした全チームが出場できる。4×400mR は 3・4 地区合わせて上位 32 チーム以内とする。
- (4) エントリー人数（チーム）が、地区の最大枠 24 名・16 名（32 チーム）に満たなかった場合は、予選会の記録いかに関わらず中央大会の出場権を取得する。よって、中央大会出場を辞退する場合は、下記の辞退手続きと同様に各地区主任へ申し出ること。その場合は、25 位・17 位（33 チーム）以下から繰り上げ出場となる。なお、全体で 48 名になるように他の地区から不足人数を選出することもある。

2. 同記録が出た場合

- (1) トラック種目については規則第 167 条に従う（資料あり）。
- (2) 走幅跳、三段跳、砲丸投、については、セカンド、サード記録で決定する。
- (3) 円盤投、ハンマー投、やり投、走高跳については、抽選とする。

3. 中央大会出場の辞退

- (1) 出場権獲得者で、中央大会出場を辞退する場合は、必ず辞退届を各地区主任へ提出すること。
- (2) 提出期限は地区大会期間中とする（2 日目全競技終了時刻から 30 分後を締め切りとする）。
- (3) リレー種目のエントリーメンバーを変更する場合は、大会中に、リレー票を本部に提出すること。

4. 申込方法

- (1) 出場校は、中央大会出場決定の旨を地区主任より通知を受けた後、「参加選手一覧表（学校長認知書）」を作成し、中央大会当日の学校受付時に、参加料と合わせて提出すること。
- (2) 参加料は 1 人 1 種目出場につき 500 円（リレー・混成種目は 1000 円）。
- (3) プログラム代 500 円（出場者全員責任購入）。
- (4) 地区予選会の期間中に辞退の申し出が無く、それ以降に、何らかの理由で中央大会に出場できない場合も、参加料・プログラム代は支払わなくてはならない。

資料

規則第 167 条 同成績

- 2.（着順ではなく）時間を元にして 166 条 3（b）によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は 0.001 秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

上記 規則により 1/1000 秒着差あり それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。